

近年の水害事例や、「台風発生」から「川の氾濫」までの自然現象や防災行動を学び、**児童自らが水害の時に「いつ」「何をするのか」を考える「マイ・タイムライン」の作成**に取り組みました。

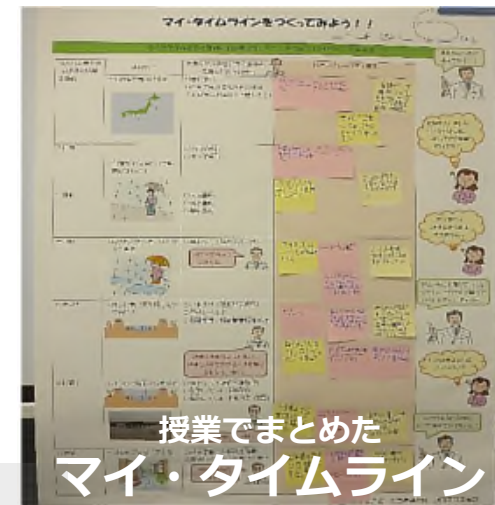
- ◆釧路開発建設部では防災教育を積極的に支援しており、標茶小学校6年生を対象に自然災害から命を守るための防災学習として「マイ・タイムラインの作成」を実施しました。授業は広い体育館で人と人との間隔をとり、新型コロナウイルス感染防止対策をしっかりと行い実施しました。
- ◆児童のマイ・タイムライン作成にあたっては、釧路川外減災対策協議会のメンバーである釧路開発建設部、釧路地方気象台、標茶町役場および他機関連携型タイムライン作成に携わった北見工業大学が参加し、各々のノウハウを活かし児童の作成作業を全面的にバックアップしました。

・実施日 令和3年10月14日(木)9時35分～11時25分
標茶町立標茶小学校(6学年 50名)

・支援メンバー 釧路開発建設部釧路河川事務所、釧路地方気象台、標茶町役場
北見工業大学(多機関連携型タイムライン作成検討会 アドバイザー)

・1時間目(座学) ～ ・近年の水害と釧路川について ・「キキクル」大雨・洪水警報の危険度分布について ・標茶町における過去の水害について
・洪水から命を守る！～タイムラインを知ろう ・マイタイムラインを作ろう！～「台風発生」から「川のはんらん」までの備え

・2時間目(グループで学習)～・マイ・タイムラインをつくろう！ ・とりまとめ発表



自然災害から命を守るためには幼少期からの防災教育が重要であることから、災害対応の実務を担う釧路川外減災対策協議会※では、学校教育における川の防災教育の支援を積極的に行っています。

※釧路川外減災対策協議会：水防災意識社会の再構築に向け、北海道開発局・北海道・釧路管内の市町村等からなる協議会を設置して、減災のための目標を共有し、ハード対策とソフト対策を一体的・計画的に進めている協議会です。